

隔月刊「いいテク・ニュース」Vol. 136【最新開催セミナーご案内！】

□ ■ (株)技術情報センター ————— ■ □

「いいテク・ニュース」

～ Ecology & Energy-Techno News ～

☆☆☆☆【8月中旬～9月初旬開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】☆☆☆☆

□ ■ ————— 2016.7.27 Vol.136 ■ □

明日、7月28日から8月1日までは旧暦の大暑の次候「土潤溽暑」(つちうるおいてむしあつし)にあたり、一年でもっとも蒸し暑いころです。

古くから、夏ばてしないように、うなぎをはじめ夏のこの時季には、土用しじみ、土用餅、土用卵など精のつくものを食べる習慣があります。

その中でも一番の人気はなんといってもうなぎ。

今週の土曜日、7月30日はその夏の土用の丑の日にあたります。

万葉集で大伴家持が

「石麻呂にわれ物申す夏瘦せに良しという物ぞ鰻とり食(め)せ」

と詠み、江戸時代には平賀源内が

「今日は土用丑の日、うなぎ召しませ」

と名文句を残しました。

さて、その食べ方ですが、武士の多かった江戸では切腹を連想させる腹開きを敬遠して背開きとし、蒸しをかかせて、余分な脂肪を落としてから焼く調理法が誕生しました。

対して関西や地方都市の多くは蒸さずに焼き、当然、江戸前より脂っこくなりますが、これはこれでうなぎの旨さが濃厚に残り、やや歯ごたえを感じさせる蒲焼きになります。

店先から漂ってくる蒲焼きの匂いを連想するだけでもう食欲が湧いてきます。

土用鰻店ぢゆう水を流しをり

阿波野青畝(あわの せいほ)

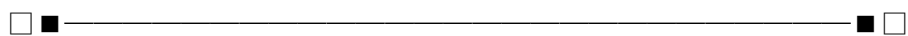
1899年(明治32年)～1992年(平成4年)

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第136号をお届けいたします。

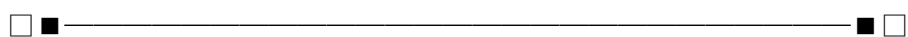
今回は2016年8月中旬～9月初旬開催19セミナーと新規取り扱い書籍情報

12タイトルと盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでご覧いただくとありがたく存じます。



i n d e x



◇セミナー情報[2016年8月中旬～9月初旬開催セミナー/19件]

2016年 8月開催セミナー

<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-08.html>

2016年 9月開催セミナー

<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-09.html>

◇おすすめセミナーPick Up

【8月24日(水)・25日(木)開催

「バイオマス発電の実際・要素技術と

木質以外（廃棄物系含め）の発電燃料利用」セミナー】

<http://www.tic-co.com/seminar/20160816.html>

◇新規取り扱い書籍情報（12タイトル）

<http://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

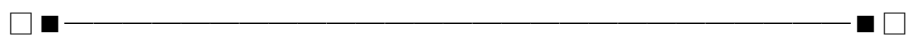
<http://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇E-mail変更・不要について

<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

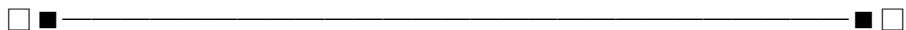
◇雑記帳

<http://www.tic-co.com/zakkicyou/zk201607.html>



セミナー情報

[2016年8月中旬～9月初旬開催セミナー/19件]



当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。  
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます  
URLにてご案内致しております。

■8月18日(木)-----

プロットプランと主要機器装置周りの配管計画及び  
配管材料の設計・規格における留意事項  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160801.html>

■8月18日(木)-----

微生物燃料電池（MFC）の研究開発と  
発電・排水処理などへの応用・適用動向  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160809.html>  
★＜アカデミック割引＞対象★

■8月19日(金)-----

専門外の方のための材料力学・材料強度学入門  
～基礎から有限要素法の応用を含めた  
各種適用方法・留意点・破壊力学の利用まで詳説～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160804.html>  
★補助金対象講座★

■8月19日(金)-----

乾燥技術の基礎から、装置選択・運転パラメーター設定・  
スケールアップとトラブル対策の実際  
～透明アクリル小型装置を用いて粉体挙動の「見える化」を実演し、  
運転条件の原因と現象の結果を体感する～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160808.html>  
★補助金対象講座★

■8月23日(火)-----

－化学・環境・エネルギー分野での経験をもとにした－  
技術者・研究者のための設備投資における採算性分析と意思決定  
～研究開発からスケールアップ、コスト試算、事業採算性検討と投資意思決定～

<http://www.tic-co.com/seminar/20160806.html>

★補助金対象講座★

■8月23日(火)-----

LNGビジネスの最新動向と日揮における取組み

<http://www.tic-co.com/seminar/20160812.html>

■8月24日(水)-----

プラントコストの見積手法及び適用技術と  
プロジェクトのコスト管理・コントロール方法

<http://www.tic-co.com/seminar/20160805.html>

★補助金対象講座★

■8月24日(水)-----

嫌気性アンモニア酸化(アナモックス)反応を用いた  
低コスト窒素処理技術

～アナモックス細菌の培養方法から、基本プロセス構築と安定運転のための  
諸条件を説明、そして実排水処理での留意点、さらに実用化事例を詳細に解説～

<http://www.tic-co.com/seminar/20160813.html>

★＜アカデミック割引＞対象★

■8月24日(水)・25日(木)-----

バイオマス発電の実際・要素技術と  
木質以外(廃棄物系含め)の発電燃料利用

<http://www.tic-co.com/seminar/20160816.html>

★日程別受講可能！！★

■8月25日(木)-----

プラントモジュール工法と輸送の留意点

<http://www.tic-co.com/seminar/20160803.html>

■8月25日(木)-----

圧縮空気エネルギー貯蔵(CAES)の技術開発動向

～電力貯蔵技術としての位置づけ、A-CAES、CAES-GT、水封式CAES～

<http://www.tic-co.com/seminar/20160811.html>

★＜アカデミック割引＞対象★

■8月26日(金)-----

～EPC業務を焦点とした～

海外プロジェクトマネジメントの実践

<http://www.tic-co.com/seminar/20160802.html>

■8月26日(金)-----

－機械設計・伝熱設計の専門である講師2名による－

多管式を中心とした熱交換器の設計入門

～エネルギー・環境関連、石油精製、石油化学、その他各種プラントの中で  
使用される熱交換器の伝熱設計と機械設計のポイントについて詳説～

<http://www.tic-co.com/seminar/20160807.html>

★補助金対象講座★

★＜アカデミック割引＞対象★

■8月30日(火)-----

発電用ボイラの基本と実際(将来展望も含む)

<http://www.tic-co.com/seminar/20160810.html>

★補助金対象講座★

■8月30日(火)-----

デマンドレスポンス（ディマンドリスポンス）、

ネガワット取引の最新動向と取組み、今後の展望

～経済産業省、関西電力、東京電力、エナジープールの識者ご登壇～

<http://www.tic-co.com/seminar/20160814.html>

★個別（各テーマ）受講可能！！★

■9月1日(木)-----

～演習を交え解説する～

加速試験の効率的な進め方とデータ解析・評価方法

～信頼性データ解析、信頼性設計手法、加速試験の実際  
(実施上の注意点)、国際標準化動向など～

<http://www.tic-co.com/seminar/20160901.html>

★補助金対象講座★

■9月 1日(木)-----

ガスエンジン・コージェネにおける高効率化など  
技術開発動向と遠隔監視・メンテナンスの実際  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160902.html>

■9月 1日(木)・2日(金)-----

プラント設備の耐震設計と補強対策技術  
～配管系、塔槽類、建屋・架台、タンク（円筒形、球形）の地震対策～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160903.html>  
★日程別受講可能！！★

■9月 2日(金)-----

バイオマスガス化発電/コージェネレーション技術の実際  
～各社（Volter、Spanner、Xylowatt）の装置と  
トリジェネレーション、低温ガス化実バイオガスエンジン適用の取組み～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160904.html>  
★＜アカデミック割引＞対象★

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度  
ご覧頂けましたら幸いです。

■ 2016年 8月開催セミナー  
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-08.html>

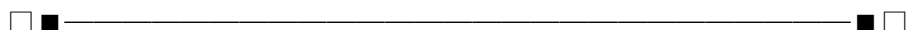
■ 2016年 9月開催セミナー  
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-09.html>

■ 2016年10月開催セミナー  
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-10.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、  
最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

□ ■-----■ □

## おすすめセミナーPick Up



今回のPick Upセミナーは

「バイオマス発電の実際・要素技術と木質以外（廃棄物系含め）の発電燃料利用」

です。

1日目（8月24日）を木質バイオマス発電を中心とした技術について、  
2日目（8月25日）は木質以外の燃料に焦点をあて、斯界の最前線でご活躍中の講師陣  
に詳説頂きます。

1日目（8月24日）のみ、2日目（8月25日）のみのご受講も受け付けております。

- 講 師 荏原環境プラント(株) 共通基盤本部  
基盤技術統括部 ボイラ技術室 室長 石川栄司 氏
- 講 師 JFEエンジニアリング(株) バイオマス発電事業部  
設計部 産業用ボイラ設計室 鎌田大輝 氏
- 講 師 三洋貿易(株) 機械・環境事業部  
バイオマスグループ プロジェクトリーダー 都留貴資 氏
- 講 師 (株)タクマ エンジニアリング統轄本部  
技術センター 技術開発部 開発課 主幹 井藤宗親 氏
- 講 師 東北発電工業(株) エンジニアリング部  
技術開発研究室 主査  
博士（工学）、技術士（機械） 長沼 宏 氏
- 講 師 (株)IHI エネルギー・プラントセクター  
ボイラプラント事業部 保守技術部 部長 福島 仁 氏
- 講 師 一般財団法人 電力中央研究所 エネルギー技術研究所  
エネルギープラットフォーム創生領域リーダー 市川和芳 氏
- 講 師 国立研究開発法人 森林総合研究所 木材研究部門  
木材加工・特性研究領域 木材乾燥研究室 主任研究員 吉田貴紘 氏

- 講 師 (株)オガワエコノス 営業統括部 企画開発室 室長 岡 弘 氏
- 講 師 公益財団法人 廃棄物・3R研究財団 上席研究員 渡邊洋一 氏
- 講 師 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
中央農業研究センター 生産体系研究領域 主席研究員 薬師堂謙一 氏
- 講 師 (株)日立製作所 電力ビジネスユニット  
発電事業部 火力本部 燃料改質開発室 室長  
兼 火力技術部 技術開発担当部長 菅澤 貢 氏

- 日 時 2016年 8月 24日(水) 9:45~17:00  
2016年 8月 25日(木) 9:30~17:00

- 会 場 東京・新お茶の水・連合会館(旧 総評会館)・4F会議室

- 受講料 ◆2日間受講 79,920円  
【1名につき(※受講者が8月24日と8月25日で違う場合でも可)】  
◆8月24日のみ受講 49,680円  
【1名につき(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,280円)】  
◆8月25日のみ受講 49,680円  
【1名につき(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,280円)】  
※テキスト代、消費税を含む

【セミナープログラム】

1日目 8月24日(水)

9:45~10:45

1. 内部循環流動床ボイラによるバイオマス発電

1-1. 内部循環流動床ボイラの特長

(1)基本コンセプト

(2)主な特長

1-2. 内部循環流動床ボイラの構造

(1)流動床メカニズム

(2)構造



- (3)熱回収メカニズム
- (4)木質系バイオマス性状と注意点
- (5)トラブル対策
- 1-3. バイオマス発電所建設運転事例
  - (1)納入実績
  - (2)発電所概要
  - (3)システムフロー
  - (4)制御システムと安定性
  - (5)運転実績
- 1-4. 今後の展望
- 1-5. 質疑応答・名刺交換

(石川 氏)

10:55～11:55

## 2. 木質バイオマス発電の設計と導入事例

※講演概要が決定致しましたら、随時アップさせていただきます。  
<質疑応答・名刺交換>

(鎌田 氏)

12:50～13:30

## 3. 木質バイオマスの低温乾燥技術 －低温ベルトドライヤー－

低温の排熱を利用して木質バイオマスの乾燥を行う低温ベルトドライヤーについて、その用途、構造、納入実績等を紹介する。

<質疑応答・名刺交換>

(都留 氏)

13:40～14:40

## 4. 木質バイオマス発電ボイラ灰の有効利用に関する取組み

FIT制度施行後、バイオマス発電プラントが国内で普及しつつある。普及に伴い燃焼灰の排出量も増加しているが、多くのプラントで産業廃棄物として処分され、循環利用されていないのが実情である。本報告ではバイオマス発電プラントの事例紹介や燃焼灰の有効利用への取り組みについて紹介する。

<質疑応答・名刺交換>

(井藤 氏)

14:50～15:50

5. バイオマス燃焼ボイラ灰付着低減溶射材料に関する耐食性・灰付着性評価

バイオマスや石炭燃焼ボイラにおける灰付着や高温腐食機構を概説するとともに、灰付着低減溶射技術の効果とその一連の開発で行なった耐食性・灰付着性評価試験、ならびに開発技術の特徴、効果について紹介する。

- 5-1. 当社のご紹介
- 5-2. バイオマス、石炭燃焼ボイラにおける灰付着・高温腐食の現状とメカニズム
- 5-3. 灰付着低減技術開発における耐食性・灰付着性評価
- 5-4. 灰付着低減技術の効果
- 5-5. 質疑応答・名刺交換

(長沼 氏)

16:00～17:00

6. 木質バイオマスによる石炭焚火力のCO<sub>2</sub>排出原単位低減技術動向

石炭焚火力で木質バイオマスを混焼するのは、いくつかの制約があり、我が国では進んでいない。その制約をいくつか克服し、木質バイオマスによる石炭焚火力のCO<sub>2</sub>排出原単位を25%低減する実証試験が行われた。その試験は、既存の石炭設備を使用し、石炭粉碎設備の簡単な改造で対応できている。この木質バイオマスの制約とその実証試験を紹介する。

<質疑応答・名刺交換>

(福島 氏)

2日目 8月25日(木)

9:30～10:30

1. バイオマス燃料の炭化と発電利用評価  
～木質チップ等の炭化燃料評価～

- 1-1. バイオマスの石炭混焼利用の意義
- 1-2. バイオマス炭化技術

- (1)バイオマス炭化技術の概要
  - (2)炭化技術の種類と国内外の動向
  - (3)炭化燃料利用の課題
  - (4)電力中央研究所の取り組み
- 1-3. 質疑応答・名刺交換

(市川 氏)

10:40～11:40

## 2. トレファクション燃料の技術開発

従来よりも低い温度（250～300℃程度）で炭化処理する「トレファクション」が、木質燃料の欠点を克服して、発熱量、耐水性、粉碎性に優れた高性能化技術として注目されている。本講演ではトレファクション技術概要、利用・研究開発状況、および今後の展望を述べる。

<質疑応答・名刺交換>

(吉田 氏)

12:30～13:30

## 3. RPFの需要増加への対応とバイオマス発電利用について

循環型社会形成を目的にしたリサイクル燃料としてのRPFの製造に関する、概要と現状の課題。

化石燃料の代替燃料としての役割、バイオマス発電での有効利用と問題点の説明。

時間が許せば、最近増加している海外の使用実績や共同開発のオファーの現状なども説明する。

<質疑応答・名刺交換>

(岡 氏)

13:40～14:40

## 4. RDF等廃棄物系バイオマスの燃料利用について

### 4-1. RDF事業の現状

### 4-2. RDF事業の役割と効果

### 4-3. グッドプラクティス事例

### 4-4. 普及の諸課題と対策

#### (1)MBT（メタン発酵＋固形燃料製造）システム

(2)産業廃棄物由来のRPFの利用状況との比較検討

(3)廃棄物利用高効率火力発電システム

4-5. 質疑応答・名刺交換

(渡邊 氏)

14:50～15:50

5. 鶏ふん等の直接燃焼による発電及び熱利用について

～宮崎県での事例を中心に～

家畜排せつ物の過剰地域である宮崎県と鹿児島県では現在6基のプロイラー鶏ふん発電所が稼働している。

鶏ふん発電所の設置意義、鶏ふんを燃焼させる際に木質バイオマスと異なる留意点や、燃焼灰の有効利用法、発電廃熱の有効利用法について、宮崎県での事例を中心に紹介する。

<質疑応答・名刺交換>

(薬師堂 氏)

16:00～17:00

6. 竹改質による燃料化開発状況について（林野庁補助事業）

FIT制度が制定されバイオマス発電所は数多く建設されているが、使用されている燃料は木質チップ、PKSなどである。一方、西日本では放置竹林が深刻な問題となっているがバイオマス燃料として使用されていない。成長の早い竹は3年で成木となり且つ民家に近い場所に生息しておりバイオマス発電燃料となれば有用な資源となる。

この竹燃料の問題点とその改質技術及び付帯技術に関して林野庁補助金を得て2015年度より開発している内容を紹介する。

<質疑応答・名刺交換>

(菅澤 氏)

－名刺交換会－

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、講師と参加者間での

名刺交換会を実施させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<http://www.tic-co.com/seminar/20160816.html>

□ ■ ----- ■ □  
新規取り扱い書籍情報（12タイトル）

□ ■ ----- ■ □

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。  
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて  
ご案内致しております。

---- 《 エネルギー 》 -----

次世代パワー半導体実装の要素技術と信頼性  
<http://www.tic-co.com/books/2016t008.html>

---- 《 環境 》 -----

環境と福祉を支えるスマートセンシング  
<http://www.tic-co.com/books/2016t011.html>

多孔質フィルム／膜の製造技術  
<http://www.tic-co.com/books/16sta120.html>

---- 《 新材料・新素材 》 -----

元素ブロック材料の創出と応用展開  
<http://www.tic-co.com/books/2016t007.html>

DLCの基礎と応用展開  
<http://www.tic-co.com/books/2016t013.html>

カルコゲナイド系層状物質の最新研究  
<http://www.tic-co.com/books/2016t012.html>

自動車車体・内外装部品の材料開発と市場

<http://www.tic-co.com/books/2016s811.html>

---- 《 食品関連 》 -----

ポリフェノール:機能性成分研究開発の最新動向

<http://www.tic-co.com/books/2016t009.html>

---- 《 医薬品・先端医療関係 》 -----

再生医療等製品の開発と実用化展望

<http://www.tic-co.com/books/2016t010.html>

難水溶性薬物の経口製剤化技術最前線

<http://www.tic-co.com/books/2016t014.html>

---- 《 ニューバイオテクノロジー 》 -----

バイオミメティクス of 技術展望と産業動向

<http://www.tic-co.com/books/2016s809.html>

---- 《 界面化学 》 -----

【実践】発泡成形

<http://www.tic-co.com/books/16sta119.html>

□ ■ ----- ■ □

セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

□ ■ ----- ■ □

2016年 5月 1日から 6月30日までの2ヶ月間のセミナー及び  
書籍のWebページアクセス数ランキングを挙げてみました。

::: ★ セミナー ランキング ★

：：：：：：：：：：：：：：：：：

第1位 「バイオマス発電の事業採算性と  
失敗しない確実な事業の進め方、  
木質バイオマス発電事業に関し想定すべきトラブルと法的対応」  
(2016年6月22日(水)開催)  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160611.html> アクセス数 1066件

第2位 -電気器材を実際に触れて理解を深めるために  
受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えた-  
「現場で役立つ電気の基礎知識」  
～専門外の方のための～  
(2016年6月10日(金)開催)  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160604.html> アクセス数 846件

第3位 「CO2等ガス分離回収の技術開発と応用・適用」  
(2016年6月21日(火)・22日(水)開催)  
<http://www.tic-co.com/seminar/20160617.html> アクセス数 845件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓  
<http://www.tic-co.com/access-lanking/al201607S.html>

今回は第1位に

「バイオマス発電の事業採算性と失敗しない確実な事業の進め方、  
木質バイオマス発電事業に関し想定すべきトラブルと法的対応」がランクイン。  
バイオマス発電を巡る補助・支援制度の動向から、発電システムの事業スキーム、  
事例からみた成功・失敗分析と事業を行なっていく上での留意点、事業採算性評価  
など、失敗しない事業展開とプラント契約、燃料供給契約、バイオマス証明の偽装  
、事業計画の失敗、燃焼トラブルなど、木質バイオマス発電事業におけるトラブル  
と法的対応について、斯界の最前線でご活躍中の実務家と弁護士に詳説頂いた内容  
が多くに関心を集めたのでしよう。

関連セミナーとして

2016年8月24日(水)-25日(木)に

「バイオマス発電の実際・要素技術と木質以外(廃棄物系含め)の発電燃料利用」  
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <http://www.tic-co.com/seminar/20160816.html>

2016年9月2日(金)に

「バイオマスガス化発電／コージェネレーション技術の実際」  
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <http://www.tic-co.com/seminar/20160904.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

：：：：：：：：：：： ☆ 書籍及び調査資料 ランキング ☆ : : : : : : : : : : : : : : :

第1位 『メイラード反応の機構・制御・利用』 アクセス数 377件  
<http://www.tic-co.com/books/2016t001.html>

第2位 『水素貯蔵材料の開発と応用』 アクセス数 376件  
<http://www.tic-co.com/books/2016t998.html>

第2位 『燃料油・潤滑油・グリース・添加剤の基礎と  
添加剤の分離分析方法』 アクセス数 376件  
<http://www.tic-co.com/books/16stm027.html>

第4位 『ヘルスケアを支えるバイオ計測』 アクセス数 367件  
<http://www.tic-co.com/books/2016t999.html>

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓  
<http://www.tic-co.com/access-lanking/al201607B.html>

今回は第2位に『水素貯蔵材料の開発と応用』がランクイン。  
家庭用燃料電池は日本が世界に先駆けて実用化した製品であり、2009年に発売されて以来、2015年9月には全国の累計で約14万台以上が普及しています。  
さらに、2014年末には燃料電池自動車が発売され、水素ステーションの建設が100カ所(2015年)～1000カ所(2025年)を目指し進んでいます。  
しかしながら水素は、常温・常圧では気体であり、高密度化するためには極低温、あるいは数10MPa以上の高圧を要し、水素を軽量でコンパクトに貯蔵するための「水素貯蔵材料の開発」は重要な課題であります。



水素貯蔵材料は、軽元素系/ナノ複合系/炭素系/液体水素化物/水素吸蔵合金など、各材料の特性を活かした技術開発および応用研究が行われてきました。

本書では、各水素貯蔵材料を用途別(水素精製、室温水素発生技術、熱利用技術、定置用水素貯蔵技術、電気エネルギー貯蔵への応用、昇圧技術、水素除去技術、次世代水素貯蔵材料・処理技術、大量水素貯蔵・輸送技術、その他)に分類し、水素貯蔵材料の活用方法を網羅した内容が注目されてのランクインでしょう。

関連セミナーとして

2016年8月18日(木)に

「微生物燃料電池 (MFC) の研究開発と発電・排水処理などへの応用・適用動向」を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→ <http://www.tic-co.com/seminar/20160809.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ \_\_\_\_\_ ■

E-mail変更・不要について

■ \_\_\_\_\_ ■

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』とご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

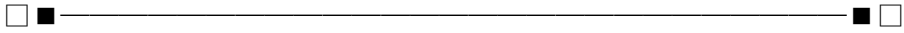
<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは [info@tic-co.com](mailto:info@tic-co.com) までお願い致します。

■ \_\_\_\_\_ ■

雑記帳



「すし」「鮓」「鮓」「寿司」

回転ずしの市場規模は約4000億円。

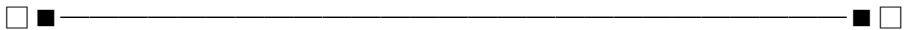
日本の総人口が約1億2700万人とされていますので、赤ちゃんからお年寄りまで1年間に回転ずしのみで1人あたり平均3,150円を消費していることになります。

これに回転ずし以外のおすし屋さんの売上げを加えると、いかに日本人がすし好きなのかわかります。

今回は世界文化遺産でもある和食の代表格「すし」「鮓」「鮓」「寿司」にまつわるおもしろ豆知識をお届けします。

こちらから↓

<http://www.tic-co.com/zakkicyou/zk201607.html>



最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等  
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。



『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[TEL] 06-6358-0141

[FAX] 06-6358-0134

[URL] <http://www.tic-co.com/>

[E-mail] [info@tic-co.com](mailto:info@tic-co.com)